

株式会社岸本建設工業は、昭和40年の創業以来、60年以上にわたり神奈川県を中心に鉄骨建築物の加工・施工を手がけてきたMグレード認定の鉄骨工事業者です。ビルや工場、住宅の柱や梁を製作し、現場での組み立てまで一貫対応。確かな技術力と豊富な実績を強みに、現在は耐震補強などの改修工事にも幅広く対応しています。

暑さに負けない現場を支える、15年の信頼 — ライフセーバーが叶える「安全性」と「快適性」

現場の“楽だな”が導入のきっかけでした

約15年前、当社が山本光学の電動ファン付き呼吸用保護具「LIFE SAVER（ライフセーバーシリーズ）」に出会ったのは、営業担当による現場でのデモンストレーションがきっかけでした。実際にデモ機を使用した溶接士の「ヘルメットの下から空気が送られてくるから、とにかく夏が楽だ」という言葉が、導入の決め手となりました。

高温多湿な夏場は、マスク内の蒸れや息苦しさから集中力が低下し、作業効率や安全性にも悪影響を及ぼします。しかし、「LIFE SAVER(ライフセーバーシリーズ)」は、送風によって熱がこもりにくく、呼吸が非常に楽になります。

また、ヘルメット・溶接面・マスクが一体となった設計のため、複数の保護具を身に着ける煩わしさもなく、両手も空くため自然と作業がはかどります。作業者が快適に作業できる環境は、品質や安全にも直結すると感じています。

さらに、部品交換や修理などのアフターサポートも充実しており、不具合時にも現場の作業を止めることなく対応できる安心感があります。国内メーカーならではの迅速かつ丁寧な対応も、大きな信頼につながっていますね。今では現場にとって欠かせない存在となっています。



粉じん、ヒューム、暑熱。 現場で命を守る“保護具”の選択。

溶接作業では、粉じんや溶接ヒュームなど、有害物質へのばく露に加え、夏場の高温・多湿な環境では、暑熱による熱中症リスクも常につきまといまいます。汗で視界が遮られた一瞬の油断が、事故や品質不良につながる可能性もあります。

その点で、「LIFE SAVER(ライフセーバーシリーズ)」はこうした複合的なリスクを一つの装備で軽減できる重要な保護具です。送風により面体内の熱がこもりにくく、呼吸も快適に。快適性が維持されることで、作業中の集中力も向上し、熱中症対策としても非常に有効です。

さらに、ルーズフィット形のためフィットテストが不要で、作業中・管理者の双方の負担を減らしながら安全性を確保できるのも大きな魅力です。



安全は「コスト」ではなく「未来への投資」

私は、「安全に代えられるものはない」と考えています。だからこそ、現場の声に耳を傾け、価値あるものにはしっかり投資してまいりました。その結果として、作業者の健康が守られるだけでなく、負担が軽減され、作業環境も快適に整えられていると思っています。結果的に離職率の低下や人材の定着にもつながっています。快適で安全な環境が、作業の質や効率を高める好循環を生み出しています。そうした積み重ねが、現場の信頼と会社の成長を支えていると実感しています。現場で働く一人ひとりの安全を守ることが、会社全体の未来を守ることにつながる。その信念を胸に、これからも安全で快適な現場づくりを追求してまいります。

導入企業紹介

■ 株式会社岸本建設工業

<https://fab-kisimoto.net/>

所在地	神奈川県平塚市東豊田480
代表者	岸部 直喜
創業	1965年（昭和40年）9月
従業員数	17名
事業内容	鉄骨建築物の鉄骨加工及び建築



岸部社長

